

制作側、内容を正当化

MXテレビ ウェブサイトで見解表明

東京の地上波テレビ局、東京MXテレビの番組「ユース女子」が東村高江周辺の米軍ヘリパッド建設の抗議行動に関し事実と異なる報道をした問題で、制作したDHCシアターは20日、ウェブサイトで見解を表明した。「基地反対派の言い分を聞く必要はない」などとして、番組内容を全面的に正当化した。

見解は濱田麻記子社長らの連名。「過激派が救急車

も止めた？」など虚偽の情報を報じたことについては触れていない。抗議行動を批判しながら当事者に取材しなかったことは、「暴力行為や器物破損、不法侵入、不法占拠、警察官の顔写真を晒しての恫喝など数々の犯罪や不法行為を行っている集団を内包し、容認している」と説明した。

高江の現場から直線距離でも25キロ離れている名護市の「二見杉田トンネル」前

運動を扇動する黒幕」などとテロップを流したことは「ヘイトスピーチ(憎悪表現)と批判された。見解は「言論弾圧」「今後もうこうした誹謗中傷に屈することなく、日本の自由な言論空間を守るため、良質な番組を製作して参ります」と反論した。

DHCシアターは本紙の10日付の質問には回答していない。

耳
補聴器のことなら
株 琉球補聴器
無休 年中
863-4133

K職員聴取
モデルガン
騒音発砲音がする騒音が、モデルガンを罪法違反の疑い局の40代の男性職員が20日、分かった。
19日は休みで、中、空に向けてモデルガン発砲音をさせた

が苦しい
いませんか?
...

東 故で 越地 中学 数の生 れるな いたこ 育委員 た。県 めは入 生徒は とんど いじ 生徒は 避難し いたが、 避難との は「不明